

Contents

はじめに 2

第1章

「子どもに英語をやらせたい」……でもちょっと待って！

①「英語ができる」は、もうそんなにすごいことじゃない？	10
②日本人に足りなかったのはアウトプットの機会だけ？	12
③もうひとつ、足りなかったものがある	13
コラム：私たちはなぜ、子どもに英語を習わせたいと思うか	15
④英会話教室をやめさせてしまう人は多い	17
⑤なんでミケじゃなくてマイクなのよ！	19
⑥目標は家庭によって違うはずだから	21
⑦ところでバイリンガルって、どんな人のこと？	24
⑧バイリンガルになるには何時間英語学習が必要？	25
コラム：散々だったあのころの私	30
⑨バイリンガル子育ての経験から言えることは	32

第2章

実録—私のバイリンガル子育て

⑩お金をかけない試行錯誤の英語育児	36
⑪おうち国際交流のススメ	43
⑫英語やるなら母語もしっかり！	47

⑬プリスクール選び、こだわりポイント	49
コラム：ママ、インターナショナルスクール設立へ	51

第3章

インターナショナルスクールの現場から

⑭親として通わせたいインターナショナルスクールに……	54
⑮こんなに違う、日本と海外	56
⑯日本の子と外国の子、伸ばしたい部分は違う	59
⑰子どもたちの日本語は大丈夫なの？	62
⑱英語と日本語は混ざっちゃう？	64
⑲バランスは難しい！ セミリンガル、ダブルリミテッドの危険	66
⑳インターに行けば誰でも英語を喋れるようになるの？	72
㉑日本人をインターに通わせるということ	74
コラム：変化していくスクール経営	76
㉒日本人の児童がインターを出るとき	78
㉓変化の激しい時代を生きる子どもたちが持つべき「見えない力」	81

番外編

世界を感じる

フィリピンの学校で	84
オーストラリアの学校で	88
はじめての日本の小学校	90
経験という宝物	91

第4章

なぜ「英語教育」×「ドラマ教育」？

②4 自己肯定感とコミュニケーション能力	94
②5 「ドラマ教育」ってなに？	101
②6 海外では当たり前の教育	103
②7 日本でも、アクティブラーニング型の教育が始まっている	105
②8 ごっこ遊びは「生きる練習」	108
コラム：はじめりは英語劇	110
コラム：ヤングアメリカンズの世界	113

第5章

その笑顔に立ち会いたいから

②9 苦手な授業を大好きに変える魔法	118
コラム：夢中の先には成長がある	120
コラム：生徒と親の感想	130
③0 ドラマ教育で「育つ」瞬間とは	134

第6章

だから私はドラマ教育にこだわる

③1 答えのない問題に立ち向かう力～インプロ～	138
③2 グローバルな時代を生きるための力を	141
③3 目に見えないからこそ	142

おわりに	143
参考文献	146